

様式第2号 (第3条関係)

平成29年11月1日

篠山市議会議長 様

会派名 ー

代表者名 ー

又は会派無所属議員の氏名 吉田 知代

政務活動報告書

この度の政務活動を下記のとおり報告します。

記

1. 活動の種類: 視察調査 ・ 研修 ・ 広報広聴活動  
その他 ( )
2. 活動期間: 平成29年10月16日(月)～20日(金)
3. 場所: 全国市町村国際文化研修所
4. 活動者: 吉田 知代
5. 活動の概要: 別紙参照
6. 考察: 別紙参照
7. 活動に要した費用:

費目	詳細	金額	備考
研究研修費	JR運賃	4,540	JR篠山口～JR唐崎
〃	参加負担金	16,250	
〃	振込手数料	216	

## 政務活動報告書

日時 平成 29 年 10 月 16 日（月）～10 月 20 日（金）  
場所 全国市町村国際文化研究所（滋賀県大津市唐崎 2 丁目 13 番 1 号）  
コース名 平成 29 年度市町村議会研修「社会保障・社会福祉コース」  
参加者 吉田 知代

---

### <研修目的>

・高齢化が進展する中、医療・介護保険制度について、将来にわたり持続可能なものとするために市町村がこれからすべきことについての調査研究

### <研修内容>

- 10 月 16 日（月） ・オリエンテーション
- 10 月 17 日（火） ・介護保険のこれからと市町村の役割 講師 鏡 諭 氏  
・社会福祉法人の経営のあり方 講師 松原 由美 氏  
・グループワーク討議 講師 植村 尚史 氏
- 10 月 18 日（水） ・地域医療の確保に関する課題 講師 緒方 裕也 氏  
・社会保障の現状と展望 講師 植村 尚史 氏  
・超高齢社会に向けた医療・福祉システムと自治体の役割  
講師 河 幹夫 氏
- 10 月 19 日（木） ・地域包括ケア～高齢期の「すまい」と地域づくり 講師 植村 尚史 氏  
・子ども・子育て支援施策の現状と課題 講師 伊奈川 秀和 氏
- 10 月 20 日（金） ・生活保護制度の現状と課題 講師 柴田 純一 氏  
・グループワーク発表 講師 植村 尚史 氏

## <考察>

平成 30 年度からの第 7 期介護保険事業計画に向け、介護報酬の大幅削減が見込まれており、これまでのプロフェッショナルの事業者から、ボランティアな団体によるサービスへと転換が必要である。介護保険制度は、社会保険制度であり、社会福祉制度とは異なるものであるから、被保険者の保険料負担の対価として行われる以上、利用者優位の制度であるという原点を忘れてはならない。

介護が必要になった主な原因が、以前は脳血管疾患であったが、ここ数年で認知症が一番の要因となった。昨今の介護殺人に象徴されるように、厳しい介護実態が象徴的である。認知症や精神的な疾患が絡んだ介護は過酷であり、家族のケアも今後の課題である。篠山市においても認知症カフェが 2 か所で開催されているが、更なる普及が必要である。

地域包括ケアシステムは、介護、医療、介護予防、住まい、日常生活支援の 5 つが一体となって提供されるシステムである。住み慣れた地域で最期まで住み続けることができることが目指すところであり、今後も少子高齢化が見込まれる中、患者の視点に立ち、どの地域の患者も、その状態に即した適切な医療を適切な場所で受けられることを目指し、この 10 年で医療機関の病床をニーズに応じて機能分化しながら、病床完結型の医療から、地域全体で治し、支える地域完結型の医療へと転換していく。大都市部では医療機関が不足する傾向だが、それ以外での地域では過剰となる傾向がある。今まで以上に医療と介護の連携が求められ、新たな介護保険施設の創設が望まれる。普通の生活を営み、安心のための見守りがある、住いの機能を重視した、病院ではないが、医療提供施設であり、介護保険適用施設が今後増えるとされる。最後を迎える看取りもできる施設、「介護医療院」が、大変魅力的であると感じた。当市においても、今後体制づくりが必要であろう。

「Aging in Place」とは、一般的な理解では住み慣れた地域で高齢者の生活を支えることだといわれているが、気が付いたら高齢者の町になっていて、ある地域が際立って高齢化することである。高齢化の次には空洞化がやってきて、高齢者同士の助け合いも困難になる。切実な要望に応えられる町＝医介住が整った街にするためには、コンパクトシティの発想が大切である。退院後の生活を考慮すると、病院の前に街を作ることが最適であるとの事だ。

研修中、グループごとに想定自治体を決め、今後どのように体制を整えるべきか話し合った。岡山県真庭市は、「医療と介護のまち」として全国からも注目されており、医療機関や介護施設が数多くある。そのため、今後は医療連携推進法人の創設も見込まれているとの事であった。

これからの社会保障の中で、地方自治体が最も考えるべき課題、担うべき役割は、日常生活と安心を提供するため、良きサービスの効率的・安心的な提供と人材確保であり住民参加、住民自治である。

当市においても、公共交通の整備、看護、介護人材確保、IT を活用した医療と介護情報の共有化、また「助け合い」の基盤づくりがこれからの課題であると感じた。

# 領 収 書

Receipt 様  
 領収年月日 2017.10.16  
 金額 ￥4,540 (消費税等込み)  
 上記金額確かに領収いたしました  
 購入商品 JR乗車券類 JR tickets  
 (40256 2枚)  
 西日本旅客鉄道株式会社  
 篠山口駅  
 篠山口駅F発行 50257-01

印紙税申告納  
 付につき大定  
 税務署承認済

## ご利用明細

本日はご来店いただきありがとうございます。  
 ご利用明細をご確認のうえ、お持ち帰りください。  
 裏面のご案内もあわせてごらんください。

SMBC

☆☆お振込☆☆

お振込金額 ￥16,250  
 振込手数料 ￥216

お受取人は  
 みずほ銀行  
 大津支店  
 普通 #1705329  
 サイ)セ"ンゴクンチヨウソクケンシユウサ"イ  
 "ンセ"様  
 お振込人は  
 ササヤマシキ"カイ カイハムシヨツ"クギ"イン  
 ヨシタ"トモヨ 様

お取扱日 29.10.12 電信振込

取扱店	機種	年 月 日	時刻	印紙税申告納 付につき 税務署承認済
39272	229	29.10.12	08:47	
*8132				
銀行番号	店番号	口座番号等		
000903	920395	****1230		

三井住友銀行